



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社テイツー 上場取引所 東
 コード番号 7610 URL https://www.tay2.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 克治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青野 友弘 (TEL) 048-933-3070
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	8,361	29.6	469	27.2	520	34.3	271	18.3
2023年2月期第1四半期	6,450	△2.0	369	12.8	387	9.8	229	△12.7

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 267百万円(18.2%) 2023年2月期第1四半期 225百万円(△12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	4.20	—
2023年2月期第1四半期	3.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	12,058	5,685	47.2
2023年2月期	10,940	5,600	51.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 5,685百万円 2023年2月期 5,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年2月期の配当予想につきましては、本日(2023年7月14日)公表しました「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	34,300	9.7	1,800	15.6	1,850	15.3	1,100	9.7
								16.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年2月期の業績予想につきましては、本日(2023年7月14日)公表しました「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	68,664,338株	2023年2月期	68,664,338株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	3,995,611株	2023年2月期	4,075,897株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	64,592,202株	2023年2月期1Q	65,287,768株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会支援信託ESOPが保有している当社株式(2023年2月期1,402,900株、2024年2月期1Q1,304,400株)を含めております。また、当該信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症予防に関する行動制限が解除され、経済活動に緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新品・中古トレーディングカード(以下「トレカ」という。)の売上が近年のトレカ市場拡大の影響により好調に推移したことや、新品ゲームについては、人気タイトルの新作発売の影響等により売上が伸長し、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高83億6千1百万円(前年同期比29.6%増)、営業利益4億6千9百万円(前年同期比27.2%増)、経常利益5億2千万円(前年同期比34.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千1百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

(事業の概況)

当社グループは、グループ経営理念「満足を創る」に基づき、「リユースで地域と世界をつなぐ」をグループビジョンとして掲げ、様々な施策に着手しております。グループビジョン実現に向けて、2023年4月14日に公表した「2023年度ティーツーグループ成長戦略」の方針に基づき、「リユースを拡大する、EC領域に注力する、経営基盤を強化する」の3点を経営方針とし、以下のような取り組みを実行しました。

①リユース店舗領域

新規出店につきましては、ティーツーグループ成長戦略に沿って、当第1四半期連結会計期間において「ふるいち」店舗を5店舗オープンいたしました。(4月 イオンモール豊川店・イオンモール高崎店・イオンモール浜松志都呂店・イオンモール羽生店、5月 ららぽーと富士見店)

また、関連会社の株式会社トップブックスを通じたフランチャイズ店舗につきましては、「ふるいちトップブックス」の屋号にて、当第1四半期連結会計期間において7店舗をオープンしました。(3月 横越バイパス店・青葉奈良店・新潟中央インター店、4月 長岡花園店・小出店、5月 高田西店・大町店)

今後も新規出店を通じて、戦略的な多店舗展開の検討及び小型店舗のバリエーション開発に加えて、業務提携先との契約に基づいた継続的な支援を基に、引き続き取扱商材を多様化する取り組みを推進します。

②リユースEC領域

2022年9月にリリースした自社ECサイト「ふるいちオンライン」につきましては、2023年4月より、従来の取り扱い商品であった新品ゲーム、中古ゲーム、中古トレカに加え、新たにコミック全巻セットとホビー関連商品の取り扱いを開始いたしました。これにより、より多くのお客様のニーズにお応えできるECサイトとなりました。

「ふるいちオンライン」での年度を通じた黒字化の達成を目指し、サイトの操作性の改善及び広告効果を高めるための機能搭載、宅配買取機能の追加実装に向けた検討を進め、さらなる収益力向上を図ってまいります。

③リユースBtoB領域

独自のトレカ査定システム「TAYS(ティーズ)」につきましては、2022年2月の外販提供開始以降、順調に拡販を進めております。また、トレーディングカード在庫検索機「T-Search(ティーサーチ)」(仮称)を直営店舗にて運用確立後、TAYS同様にBtoB領域での商材として外販にも取り組んでいく予定です。

さらに、株式会社アドインテと共同開発した大型デジタルサイネージを搭載した高機能トレカ自販機「AIICO II(アイコツー)」の開発を進め、実験機として一号機を直営店舗に設置いたしました。営業店舗にて検証を重ね、ハード面及びソフト面の問題点を解決したうえで、本格的な調達を進めてまいります。本機種は直営店舗以外への設置を基本として、TAYSに続くリユースBtoB領域の主要な商材として拡販を進める方針で、組織と人員配置の整備も進めてまいります。

④その他の主要な取組事項

小売店舗での課題である、窃盗(万引き)に対する防犯活動負担の軽減のため、2022年12月に業務提携した株式

会社システム・ケイト、当社店舗を用いた新たな防犯カメラシステムのための実証実験を進めております。実証実験のための防犯カメラの設置が2023年3月に完了し、実用に耐えうる状態になった段階で直営店舗にも順次導入する予定です。

その他、グループビジョン「リユースで地域と世界をつなぐ」実現に向けた取り組みの一環として、「地方創生」をテーマにしたCSV(Creating Shared Value=共通価値の創造)活動を推進し、地域の魅力の発信や町への集客を実現するために必要とされる「場」(店舗・マンガ館、仮想空間など)の創造を探求しております。

2023年4月に公表した「ティーツーグループSDGs宣言」に基づき、本業であるリユース事業を成長させることを通じて、持続可能な社会の実現へ向けて、社会貢献を果たしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は120億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億1千7百万円増加いたしました。これは主に商品の増加及びその他流動資産の増加によるものです。負債合計は63億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億3千2百万円増加いたしました。これは、長期借入金を減少させた一方で短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を増加させたことによるものです。純資産は56億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比べて8千4百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、今期の連結業績の推移を勘案し、2023年4月14日に公表いたしました数値から変更しております。なお、当該修正に関する開示は、本日(2023年7月14日)に公表いたしました「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,479,130	2,281,611
売掛金	723,480	742,096
商品	3,982,697	4,837,374
貯蔵品	16,733	16,211
その他	473,497	808,308
流動資産合計	7,675,540	8,685,603
固定資産		
有形固定資産	866,461	946,907
無形固定資産		
のれん	101,460	91,314
その他	522,276	506,280
無形固定資産合計	623,737	597,595
投資その他の資産		
差入保証金	1,086,066	1,110,210
貸倒引当金	△4,000	△4,000
その他	693,021	722,315
投資その他の資産合計	1,775,087	1,828,525
固定資産合計	3,265,285	3,373,029
資産合計	10,940,825	12,058,632
負債の部		
流動負債		
買掛金	663,156	416,660
短期借入金	900,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	351,180	844,664
未払法人税等	176,469	167,628
賞与引当金	223,269	22,200
役員賞与引当金	26,723	—
ポイント引当金	48,279	50,431
契約負債	147,518	149,607
株主優待引当金	16,181	16,181
資産除去債務	21,500	21,528
その他	770,319	846,773
流動負債合計	3,344,599	4,935,676
固定負債		
長期借入金	1,038,705	457,426
退職給付に係る負債	310,291	311,181
資産除去債務	538,692	552,470
その他	107,624	115,993
固定負債合計	1,995,313	1,437,071
負債合計	5,339,912	6,372,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,620,880	2,628,374
利益剰余金	3,213,970	3,287,390
自己株式	△360,677	△352,318
株主資本合計	5,574,173	5,663,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,015	1,574
退職給付に係る調整累計額	21,724	20,864
その他の包括利益累計額合計	26,739	22,438
純資産合計	5,600,912	5,685,884
負債純資産合計	10,940,825	12,058,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	6,450,341	8,361,156
売上原価	4,041,754	5,402,282
売上総利益	2,408,586	2,958,873
販売費及び一般管理費	2,039,569	2,489,334
営業利益	369,017	469,539
営業外収益		
受取利息	573	661
受取賃貸料	19,241	19,320
持分法による投資利益	15,412	40,907
その他	8,741	13,875
営業外収益合計	43,968	74,765
営業外費用		
支払利息	5,383	4,652
不動産賃貸費用	17,627	17,699
その他	2,004	1,024
営業外費用合計	25,014	23,375
経常利益	387,970	520,928
特別損失		
固定資産除却損	948	0
特別損失合計	948	0
税金等調整前四半期純利益	387,021	520,928
法人税等	157,523	249,534
四半期純利益	229,498	271,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,498	271,393

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	229,498	271,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,648	△3,441
退職給付に係る調整額	△1,890	△859
その他の包括利益合計	△3,539	△4,300
四半期包括利益	225,959	267,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,959	267,093
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年4月14日 取締役会	普通株式	68,008	1.0	2022年2月28日	2022年5月12日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金1,697千円が含まれております。

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の金額の著しい変動

当社は2022年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,000,000株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が268,405千円増加し、当第1四半期連結会計年度末において自己株式が466,260千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年4月14日 取締役会	普通株式	197,974	3.0	2023年2月28日	2023年5月11日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金4,208千円が含まれております。

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(3) 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
中古品		
本	758,534	672,672
ゲーム	1,288,583	1,369,477
トレカ	1,121,481	1,742,859
ホビー	155,103	217,328
その他	437,695	505,539
中古品計	3,761,398	4,507,878
新品		
本	12,808	5,546
ゲーム	1,380,753	1,688,952
トレカ	970,217	1,686,039
ホビー	186,117	283,772
その他	62,655	57,275
新品計	2,612,552	3,721,585
その他	40,651	107,189
顧客との契約から生じる収益	6,414,602	8,336,654
その他の収益	35,738	24,502
外部顧客への売上高	6,450,341	8,361,156

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

当四半期連結会計期間中に、当社は下記のとおり配当に関する取締役会決議を行っております。

①決議年月日	2023年4月14日
②配当金の額	197,974千円
③1株当たり配当額	3円00銭
④基準日	2023年2月28日
⑤効力発生日	2023年5月11日

(注)配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金4,208千円が含まれております。